

ポスター発表 P1

掲示時間：大会 1 日目 [5 月 12 日 (土)] 9 : 30 – 15 : 00

会場：F-102 教室 ・ F-104 教室

在席責任時間：13 : 00 – 14 : 00

○は主発表者， * は非会員

[P1-1]

マウスの養育行動におよぼすストレスの影響

○ * 富澤優美 ・ * 山口奈緒子 ・ 永田知代 ・ * 佐越祥子 ・ * 津田夢芽子 ・ 坂本敏郎 ・ 小川園子 (筑波大学 ・ 行動神経内分泌学研究室)

[P1-2]

新生児マウスのバージン雄への選好に及ぼす父親の唾液と尿の刺激効果

○ 児玉典子 ・ * 山口恵理佳 (滋賀大学教育学部)

[P1-3]

長期ストレスおよび豊環境飼育がラットの前頭葉依存性認知課題成績に及ぼす影響

○ 菅田雄介¹ ・ 岡田隆²

(¹ 上智大学大学院総合人間科学研究科, ² 上智大学総合人間科学部)

[P1-4]

メスマウスの驚愕反応と prepulse inhibition に及ぼすエストロゲンの効果

○ 富原一哉 ・ * 増元優太 (鹿児島大学法文学部)

[P1-5]

若齢期の社会的接触制限が雄マウスの社会行動発達に与える影響

加藤克紀 (筑波大学人間系心理学域)

[P1-6]

野生マウス系統 MSM の過剰な攻撃行動に関わる遺伝的基盤

○ 高橋阿貴 ・ 小出剛 (国立遺伝学研究所マウス開発研究室)

[P1-7]

同種個体に対するラットの推移的推論

○ 谷内通 ・ 石木真希 ・ 上條慎子 (金沢大学)

[P1-8]

ラットにおける物体刺激の異同弁別学習

○上條禎子・下川萌未・谷内通（金沢大学大学院人間社会環境研究科）

[P1-9]

ラットの位置遅延非見本合わせ課題における指示性忘却—迷路・オペラント箱を用いて—

○久保望・佐伯大輔・川辺光一（大阪市立大学文学研究科）

[P1-10]

放射状迷路を用いたラットの時間的順序記憶に及ぼすアーム提示間隔の効果

○梶田麻菜美・山田一夫・一谷幸男（筑波大学人間総合科学研究科）

[P1-11]

ラットの風味選好条件づけの獲得と消去に及ぼす動因状態の影響について

梶木隆寿（関西学院大学文学部）

[P1-12]

ラットの味覚嗅覚嫌悪学習による化学物質過敏症発症の検討

○北條理恵子・久保田久代・柳場由絵・小林健一・宮川宗之
（独立行政法人 労働安全衛生総合研究所）

[P1-13]

ラットの自発的回復に及ぼす耐性形成/拮抗条件づけ手続きの効果—条件性味覚嫌悪事態を用いて—

○遠座奈々子¹・*吉田亜弥²・中島定彦²
（¹関西学院大学大学院文学研究科，²関西学院大学文学部）

[P1-14]

ラットの MK-801 誘発性移動活動量亢進に及ぼす成体期グルタミン酸 NMDA 受容体慢性遮断の効果

○古家宏樹・山田一夫・一谷幸男（筑波大学人間総合科学研究科）

[P1-15]

オペラント学習の進捗指標としてのラット超音波発声

○*結城笙子¹・松本結²・関義正^{3, 4}・岡ノ谷一夫²
（¹東大教養後期，²東大総合文化，³J S T，⁴理研）

[P1-16]

スナネズミの周波数変調音に対するカテゴリー知覚

○鳥越祐樹・小林耕太・*力丸裕（同志社大学知覚・認知脳神経機構研究室）

[P1-17]

マーモセットの生後初期における音声発達

○中神明子^{1, 2}・*一戸紀孝²・川合伸幸^{1, 2}

（¹名古屋大学大学院，²国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

[P1-18]

マウスにおける奥行き知覚—像の大きさ手がかり要因の検討—

○興津隆雄・加藤克紀（筑波大学人間総合科学研究科）

[P1-19]

チンパンジーにおける食物のテクスチャ知覚

○伊村知子¹・*増田知尋²・*和田有史²・*岡嶋克典³（¹京都大学霊長類研究所，²農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所，³横浜国立大学）

[P1-20]

ニホンザルの振幅変調音に対する知覚

○古山貴文・小林耕太・力丸裕（同志社大学知覚・認知脳神経機構研究室）

[P1-21]

ハトの体重統制法による穀類強化子の機能の分析：繰返し測定による分析

藤健一（立命館大学文学部）

[P1-22]

ハトの遅延割引における体重レベルの効果

○北野翔子¹・*磯部護²・伊藤正人¹・佐伯大輔¹

（¹大阪市立大学大学院文学研究科，²大阪市立大学文学部）

[P1-23]

強化後遅延の異なる選択肢間におけるハトの餌選択

佐伯大輔（大阪市立大学大学院文学研究科）

[P1-24]

遅延価値割引事態における報酬量の増大がELマウスの衝動的行動に与える効果

○久保浩明¹・木村裕²・*前田理絵³・小山明子⁴・*中本百合江⁵・

*吉井光信⁵（¹見立病院，²早大，³福岡県大，⁴福岡少年鑑別所，⁵都医学研）

[P1-25]

ハシフトガラスの道具操作における視覚の役割

○金井将希¹・伊澤栄一²・渡辺茂²

（¹慶應義塾大学社会学研究科，²慶應義塾大学文学部）

[P1-26]

ハシフトガラスの脳に見出された新規な皮質－延髄路

○伊澤栄一¹・*清水透²・渡辺茂¹

（¹慶應義塾大学文学部，²南フロリダ大学心理学部）

[P1-27]

イヌの注視行動の品種差

○今野晃嗣^{1,2}・長谷川壽一¹

（¹東京大学大学院総合文化研究科，²日本学術振興会）

[P1-28]

イヌにおけるヒトの意図の認識

○高岡祥子¹・*寺本智保²・堀裕亮¹・李奕錦¹・鍋岡紫¹・藤田和生¹

（¹京都大学文学研究科，²京都大学文学部）

[P1-29]

ネコは自分の名前を認識しているか－多頭飼いのネコへの呼びかけ実験－

○陳香純¹・*関口杏菜²・中島定彦²

（¹関西学院大学文学研究科，²関西学院大学文学部）

ポスター発表 P2

掲示時間：大会 2 日目 [5 月 13 日 (日)] 9:30 – 15:00

会場：F-102 教室 ・ F-104 教室

在席責任時間：13:00 – 14:00

○は主発表者， *は非会員

[P2-1]

異系統マウス間の共感と逆共感

○*小宮山未季・*一之瀬備恵・高田孝二 (帝京大学文学部)

[P2-2]

マウスの体性感覚情報を手がかりとした新規自動化弁別学習課題の確立

○本間千尋¹・山田一之¹・*鴨志田敦史^{1,2}・*村山正宜¹ (¹ 理化学研究所 BSI 行動神経生理学研究チーム, ² 日本ナショナルインスツルメンツ)

[P2-3]

オスマウスの社会的認知に及ぼす隔離飼育と性腺除去の効果

上原明生 (鹿児島大学大学院人文社会科学研究科)

[P2-4]

メスマウスの不安様行動に対するエストロゲン脳室内投与の効果

大川卓也 (鹿児島大学大学院人文社会学研究科)

[P2-5]

甲状腺ホルモン阻害がラットの移動的注意に及ぼす影響

○瀬戸友紀奈・和田博美 (北海道大学文学研究科)

[P2-6]

思春期ニコチン投与がマウスの認知機能に及ぼす長期効果

○末永叔子¹・*中原大一郎² (¹ 東京福祉大学心理学部, ² 浜松医科大学医学部)

[P2-7]

ADHD モデルラット SHR のミスマッチ陰性電位様反応への atomoxetine 投与の効果：前注意過程の不全の検討

○麦島剛¹・木村裕²・小山明子³・久保浩明⁴・*岩崎留衣子¹・*玉井美紀¹・*榛葉俊一⁵

(¹ 福岡県大, ² 早大, ³ 福岡少年鑑別所, ⁴ 見立病院, ⁵ 静岡済生会総合病院)

[P2-8]

仔ラットの母子分離誘発性超音波啼鳴反応（USV）に及ぼす分離環境の影響

川崎勝義（星薬科大学）

[P2-9]

ラットを用いた再固定時の消去による自発的回復抑制の検討

○山岸厚仁¹・佐藤暢哉²（¹関西学院大学大学院，²関西学院大学）

[P2-10]

ラットの強制水泳手続きにおける恐怖反応の再発に及ぼす影響

○宮下遥¹・栗原彬¹・澤幸祐²

（¹専修大学大学院文学研究科，²専修大学人間科学部）

[P2-11]

カフェイン・アルコール・ニコチンの慢性投与後の剥奪手続きによって生じるラットの風味忌避学習

○中島定彦¹・*高本友紀¹・*小川千佳¹・*池内咲¹・*橋本あや²

（¹関西学院大学文学部，²関西学院大学大学院文学研究科）

[P2-12]

デグーの空間行動：水迷路学習および物体認知に対する加齢の影響と性差

上北朋子（同志社大学心理学部）

[P2-13]

ラットはモリス水迷路でどの位置手がかりを用いるか？—狭い実験空間での追試—

○堀和音¹・中島定彦²（¹関西学院大学大学院文学研究科，²関西学院大学）

[P2-14]

ラットは高低と明暗の視聴覚の共通性を知覚するか？

○高橋真¹・谷内通²（¹大谷大学文学部，²金沢大学人間社会研究域）

[P2-15]

ラットを用いたコモンマーモセットの音声弁別

○垣谷司¹・山崎由美子^{1,2}・*加藤真樹²・*入來篤史²・渡辺茂³（¹慶應義塾大学社会学研究科，²理研 BSI 象徴概念発達研究チーム，³慶應義塾大学文学部）

[P2-16]

経頭蓋的近赤外光照射によるスナネズミの聴覚野神経活動の可逆的抑制

○秋山直哉・小林耕太・*力丸裕（同志社大学知覚・認知脳神経機構研究室）

[P2-17]

ニホンザルのコンタクトコール発声における文脈特異性の成体メスと未成年メスでの比較

○勝野吏子・山田一憲・中道正之（大阪大学大学院人間科学研究科）

[P2-18]

嵐山ニホンザル E 集団における 25 歳齢以上の超高齢メスの行動特徴

○市川彩代子・山田一憲・中道正之（大阪大学）

[P2-19]

野生ニホンザルの母親が怪我をした子へ行った行動

○上野将敬^{1, 2}・山田一憲¹・中道正之¹

（¹大阪大学大学院人間科学研究科，²日本学術振興会特別研究員）

[P2-20]

フサオマキザルにおける第 3 者の互惠性やその違反の認識

○瀧本彩加^{1, 2}・*James R. Anderson³・*黒島妃香⁴・藤田和生⁴

（¹東大総合文化，²日本学術振興会，³University of Stirling，⁴京大文）

[P2-21]

チンパンジーが獲得したアラビア数系列における象徴距離効果

○田中正之¹・*松永雅之²・*伊藤二三夫²・*山本裕己²

（¹京都大学野生動物研究センター，²京都市動物園）

[P2-22]

ワカモノチンパンジーにおける系列短期記憶

井上紗奈（林原類人猿研究センター）

[P2-23]

色がニホンザルの時間知覚に及ぼす効果

○柴崎全弘^{1, 2}・*香田啓貴²・*正高信男²

（¹日本学術振興会，²京都大学霊長類研究所）

[P2-24]

ハトにおける傾き錯視知覚の検討

○渡辺創太^{1, 2}・岩崎純衣^{2, 3}・中村哲之⁴・藤田和生³

(¹大教大, ²日本学術振興会, ³京大文, ⁴千葉大先進科学センター)

[P2-25]

リスザル (*Saimiri sciureus*) における目標志向的な運動の知覚

渥美剛史 (立教大学現代心理学研究科)

[P2-26]

メダカの群泳行動誘発における生物学的運動情報の関与

○中易知大・*渡辺英治 (基礎生物学研究所・神経生理学研究室)

[P2-27]

キンギョの放射状迷路課題遂行における反応コストの効果

○平野友理・谷内通 (金沢大学大学院人間社会環境研究科)

[P2-28]

メダカの集合行動と関連する脳の領域の解析

○坪川達也¹・*川野仁²・今村舟³, 渡辺茂³

(¹慶應義塾大学生物学教室, ²東京都医学総合研究所, ³慶應義塾大学文学部)

[P2-29]

アカハライモリにおける着水を報酬とした同時明暗弁別学習

○木村誠¹・上野糧正²・谷内通³ (¹小松短期大学, ²石川県立大学, ³金沢大学)